



# 早稲田大学 立川稲門会会報

2017年12月20日  
第22号

発行 立川稲門会  
編集者 小林和雄  
事務局 立川市富見町  
2-36-43

<http://tachikawatomon.com>



## 第44回定時総会 開催

平成29年10月14日（土）午後5時30分より、立川グランドホテルにて開催されました。



- ・議題1 平成28年度活動報告
- ・議題2 平成28年度会計報告
- ・議題3 平成28年度監査報告
- ・議題4 平成29年度活動計画
- ・議題5 新役員について(案)

### 第一部 定時総会

相川雅信副幹事長の司会で第一部・定時総会を行いました。小林和雄会長の開会挨拶、来賓紹介の後、小本曾夏樹業務幹事が議長に選出され、議事に入りました。以下の議題について各担当役員から説明があり、議題は全て承認されました。

### 第二部 講演会

東京ガス(株) 埼玉支社支社長(元FC東京社長)阿久根謙司氏をお迎えし、「木の上に立って見ましよう」FC東京の人材育成」というテーマで講演をしていただきました。  
(講演会の詳細は後述)



### 第三部 懇親会

上野竜造副幹事長の司会で第三部・懇親会を行いました。早稲田大学・鈴木啓太地域コーディネーター、

立川三田会(慶應大学)・大石敏雄会長、立川白門会(中央大学)・村田光男副支部長より、ご挨拶をいただいた後、鈴木一廣副会長からの会員紹介(増田一郎さん、太刀岡貴司さん、中川洋子さん)があり、小林章子副会長の乾杯で歓談が始まりました。その後、同好会(ゴルフ愛好会、稲酔会、散策の会、早稲田ラグビーを愛する会、若手の会、稲門釣り倶楽部、等)の紹介が続ぎ、最後は相川雅信副幹事長の指揮の下、全員で応援歌・紺碧の空と、校歌・都の西北を歌いました。



## 講演「木の上に立って見ましょう」

2010年のJ2降格と翌年のJ1復帰を、J2の優勝をという最高の結果で成し遂げたFC東京では、一体何が起こっていたのか。その舞台裏を、当時FC東京の社長としてチームを率いていらっしやった阿久根元社長に講演いただきました。

## 講演内容

## FC東京の人材育成

○J2降格当時、FC東京はどのような状況だったのか？

○FC東京の行動指針 自分で見て、考えて動ける人材の育成

## コーチングとは

○主なコーチングスキルとは

## 講演を聴いて

今までの経験や法則がそのままでは通じなくなり、非常に先の見え辛い時代が到来する中では、自ら考え、変革をしていく人材が求められます。

一方で、少子化の影響などで非常に過保護になり、入社してくる新入社員は所謂「指示待ち族」が多く、そのギャップをどうやって埋めるのか、どの会社にも共通の課題ではないかと思いつながら伺っておりました。

監督・コーチ陣・選手・ビジネススタッフの「自立」を促す手段として「コーチング」を取り入れ、「自立」を引き出すためには、「個人差を容認し、相手の意見を受け入れ、相手の立場を尊重する」態度から生まれ、求められる上司の管理態度とは「部下の話に根気よく耳を傾け、気持ちに共感し、否定せずに最後まで聴く」と伺い、改めて日頃の態度を振り返って考えてみました。

個人的には野球から畑違いのサッカー界に飛び込んで行った阿久根先輩に、早稲田魂を強く感じました。

(上野)



## 講師略歴

阿久根謙司あくねけんじ (S59年商)

早稲田実業高校で甲子園に2回出場。

早稲田大学野球部では主将を務め、東京6大学野球のベストナインに2度選ばれる。

大学卒業後、東京ガス野球部で活躍し、その後東京ガス野球部監督を勤める。

2011年2月より2015年1月までFC東京社長としてJ2降格したクラブを建て直し、J2優勝と1年でJ1復帰を果たし、さらにFC東京として初めての天皇杯優勝に導いた。

現在、東京ガス(株) 埼玉支社支社長



# ここにも稲門の絆.. 同好会だより

同好会活動も盛んです。お気軽に代表者までご連絡ください！

## 稲酔会

稲酔会は年3回の例会を行って20年。今年で通算第63回目の稲酔会を開催しました。

### 【第六二回】

若いメンバーの切なる要望で、八王子の老舗料亭「坂福」(明治43年創業)に、地元の美しい芸妓5名を招き、懐石料理と見事な伝統芸能を堪能しました。



平成29年2月 於：八王子「坂福」

### 【第六三回】

―武蔵野稲門会と合同開催―

アサヒビール(株)の元 常務取締役 岡田氏のご協



平成29年4月 於：アサヒビール本社

## 早稲田ラグビーを愛する会

### 【早慶戦】

平成28年11月23日  
秩父宮ラグビー場

力を得て、吾妻橋の本社ビルのゲストルームで、当日開催の早慶レガッタを眼下に観戦しながら、ビールを味わいました。(ちなみに今年は一艇身の大差で勝利!)。締めは、校歌が声高らかに響きました。(長野)

互いの意地とプライドが懸かった大事な一戦。攻守が目まぐるしく入れ替わる一進一退の攻防となったが、早稲田が辛くも2点差で逃げ切り勝利を収めました。

参加者は12名。試合後は、渋谷の居酒屋で勝利の美酒を味わいました。



### 【早明戦】

平成28年12月4日  
秩父宮ラグビー場

伝統の一戦は、早稲田が明治の協力FW陣との競り合いを制して2点差で勝利し、大学選手権への出場権を獲得しました。

試合後は同じ居酒屋で大いに盛り上がりました。当日の参加者は10名で、来年の再会を誓い帰路につきました。(天上)

## 若手の会

7月21日に若手の会の暑気払いを行いました。立川在勤の方のみならず、都内からも大勢の方が駆けつけてくださり、総勢18名で盛り上がりました。年齢層も

「若手」と、銘を打っておりますが、60代後半の方もいらっしゃるようですので、幅広い年代の方の参加をお待ちしております。開催実績：不定期ですが、暑気払い(7月)と忘年会(12月)が中心です。



## 談話サロン

平成24年7月に発足(市教育団体に登録済)し、稲門の皆さんの貴重な体験や趣味などについてうちとけた雰囲気の中で楽しむものです。

人材豊富な早稲田の気風にあらわれている様に、人生体験、その道の達人から

のお話、ここだけしか聞けない裏話、その時々の方近な関心事などジャンルを問わない興味深いテーマを話題にしています。

講師は会員が担当、受講者も積極的に発言しお互いの交流に努めています。人との出会いを大切に更に感性を磨き、視野を広め懇親をモットーに活動するものです。

### ★活動日程

#### 開催日程

1回/月第二火曜日  
2:00 pm ~ 4:00

#### 場所

子供未来センター2階  
(旧市役所跡) 会議室

## 散策の会

2017年前半の活動について  
(2017年1月~9月)

1月18日

浅草名所七福神巡り

(今年で7年目) 12人

2月15日

町田市小野路里山散策

暖かな晴天 8人

3月15日

裏高尾梅林巡り 9人

4月19日

羽村市チューリップ祭り  
と動物園 13人

5月17日

瑞穂、福生散策路と昼食  
会(ハム・ソーセージ)  
11人

6月21日

六義園と巣鴨地藏 都電  
で早稲田まで 7人  
(7月、8月はお休み)

### 番外編

7月5日

東京メトロ全9路線の旅  
5人

9月20日

根川緑道・浅川水辺散策  
と彼岸花

景色を楽しみながら、のんびりと歩いています。



## ゴルフ愛好会

本会は平成8年からゴルフ愛好会としてゴルフコンペを開催してきました。

昨年平成28年までは、年2回の定期コンペを中心に有志たちが海外をはじめ伊豆や蓼科で行いました。

平成29年からは、3月・6月・9月・12月の第2水曜日にwペリアでコンペをします。

12月はGMG八王子ゴルフ場を予定し、忘年会を楽しみます。今年から若い同窓生(現職で勤務の方々)が本会に加入されまして、新たな活気に満ちてくるのではないかと大いに期待しています。

更に一層ご参加されますようお誘い申し上げます。  
現在21名の会員  
会費はコンペの都度4千円~5千円です。



## 同好会一覧

同好会名	代表者	連絡先☎	開催日・参加人数・場所等
談話サロン	広瀬 俊夫	042-531-2687	毎月第二火曜日(除く8月)14時~16時 参加費500円 先着20名様まで 立川市子ども未来センター会議室
散策の会	長谷川英夫	042-521-2624	毎月第三水曜日(除く7月8月)
稲酔会	長野 長正 鷺海 量良	042-566-1033 042-527-6191	不定期(年3回程度)
ゴルフ愛好会	田村 二葉	042-535-3878	不定期
駅伝同好会	鈴木 一廣	042-525-8611	
早稲田ラグビーを愛する会	大上 保	042-536-0940	早慶戦(11月23日) 早明戦(12月第一日曜日)
稲門釣り倶楽部	上野 竜造	042-843-8083	初夏(白キス)、初冬(カワハギ)、懇親会多数
若手の会	上野 竜造	042-843-8083	不定期
立川早稲女会	小林 章子	042-537-6149	不定期



## 特集：地域社会と共に歩む

地域の様々な活動にも、沢山の稲門会の方が携わっていらっしゃいます。  
今回は、3名の方に寄稿して頂きました。

### 外国人との交流の架け橋になろう — 多文化共生の活動 —



佐竹茂一郎 S51 社学

私は、NPO法人たちかわ多文化共生センター（通称「TMC」）の専務理事兼経理担当理事をしています。01年の設立の時に、小林立川稲門会会長から、お誘いがあり加入しました。成人の際の目標の一つに、外国人の友達を持つ事がありました。なかなか、機会がないまま過ぎてしまいましたが、この会に加入すると目標が達成できるのではと思いついて参加させていただきました。当初は、一般の会員でしたが、これも小林会長から理事会の書記を頼まれ、小林会長が理事長に就任した時に、専務理事となりました。

私の活動は、毎月開催される理事会の資料作り、イベントの企画運営への参画、立川市社会福祉協議会の評議員活動、会の経理、事務局員の管理など色々です。60歳で税務職員を定年退職し、現在は税理士をしています。今後は、会務に時間が割けようになりたいと思っています。

会で行う年一回の専門家による無料相談会では、税理士として相談を受けています。普段、あまり外国人の税務を担当していません



ので、相談会前は、にわか勉強です。

外国人との交流の機会も毎年秋に開催される楽市での「世界ふれあい祭」やワールドクッキングなど色々実施していますが、私は、語学が全くダメで、うまく交流ができていないかは疑問でも、イベントに参加される



### 生涯学習の推進として — 市民交流大学 —



広瀬俊夫 S39 文

る外国人の方は、とても明るく活発な方が多く助かっています。この会の資金源は、立川市からの委託金が大部分で、活動は制限されますが、ボランティア意識の高い会員に支えられて今日まで来しました。経理担当として、財務の健全化は永遠の課題です。

立川市では、昨年「立川市多文化共生都市宣言」がなされましたので、私たちが更なる充実した活動を展開していきます。10月21日（土）には、たましんBS DRUホールで記念シンポジウムが開催されました。

立川市は、公民館活動を中心に生涯学習への取り組みが大変早く、今年で70年を迎えました。

平成19年に公民館を学習館に発展させ、「たちかわ市民交流大学」を「生涯学

習から始まるまちづくり、市民力による生涯学習の実現を目指す」を基本理念とし、その中に「市民推進委員会」を設立しました。



### 活躍する稲門人脈

この「市民推進委員会」のは、発足から現在に至るまで、立川稲門会のメンバーが大きく関わっています。特に初代会長の鈴木茂夫氏（S29年文）は強いリーダーシップを発揮され、一方、大岩泰世（S33年理工）、伊藤暢子（S50年文研修）、中村克久（S36年政経）、広瀬俊夫（S39年文）、横幕玲子（準会員）の各氏が推進委員としてボランティア

アで参加しました。

講師陣にも、初年度に原剛（S36年法）。故 錦織文良（S38年政経）、故 和田宏（S36年文）、坂田雅彦（S54年教）の各氏が招かれました。

今年度も、加藤聖文、白岩祐子、鎌田慧、高沢修一といった稲門の先生方を招聘し、大変好評を得ています。

現在、委員は、清水貞樹（S46文）、岩崎信夫（S48年教）の両氏と私が、講座の企画、運営、広報を担当しています。

「一人でも多くの市民の参加を！」と、呼び掛けていますが、稲門の皆様にはいつもご協力を戴いており、感謝しています。



高齢化社会の中で、いつまでも健康である秘訣は、「学ぶこと」だと、強く感じます。

人と交流しながら、楽しく、元気で過ごすためにも、「市民交流大学」を活用してください。

## 更生への道を信じて — 保護司の活動 —



小林章子 S54 法

### 保護司という仕事

「保護司になりませんか」と地域の大先輩に声をかけていただいたのが、平成16年秋のこと。引き受けて以来11年間保護司を続けています。実は法学部卒業なのに、恥ずかしながらその時は保護司についての知識はほとんどありませんでした。保護司とは、保護司法に基づき法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員（実質的には民間のボランティア）で、一番大きな役割は、保護観察（注1）になった人に対し、定期的（1カ月に2回程度）面接

をして、生活状況や仕事の様子を把握し、支援やアドバイスをすることです。

「犯罪者と話すなんて怖くないですか」とよく聞かれますが、私の場合は怖いと感じたことは一度もありません。暴行、窃盗、詐欺、薬物依存：怖い人のように思われがちですが、殆どの人々が過去を悔み、何とか出直したいと思っているから、保護司と接する時は真摯です。

### 出会った人たち

この11年の間には、不幸にして罪を犯してしまったり様々な人と出会いました。

ある少年は、母親が若い男性と出ていき、家に転がり込んできた父の愛人と相性が悪く荒れた生活を送るようになり、悪い仲間と罪を犯してしまいました。保護観察処分になってから私の家に毎月面接に通って

るようになりましたが、時には親子げんかの仲裁に呼び出された事もありました。仲間から逃れて、早朝に我が家に逃げ込んで来たこともありました。そんな彼も、まじめに仕事をし、良きパートナーと出会い、今では2児の父親となり幸せな生活を送っています。時々知らせてくれる近況が私の喜びの一つです。

お酒欲しさにスーパーでカップ酒を盗んでしまったアルコール依存症の老人、発達障害で周囲となじみず自信をなくし反社会的集団に入りかけた少年、過去の贅沢な生活が忘れられず詐欺を働いたIQの高い若者等々。

「誰も見ていないからいいや」「この程度ならいいや」「自分だけじゃないかい」「ばれなきゃいいや」始まりのそんな甘い考えが犯罪に繋がってしまいます。が、それで一生犯罪者として社会から拒否されてしまうなんて、ちょっと悲しくないですか。もちろん犯罪被害者の事は忘れてはいけません。被害者への償いの意識を忘れずに、

自分の罪を深く反省し、その上で社会の一員として新たな人生をやり直しても許されるのではないだろうか。

平成27年の一般刑法犯の再犯者率(注2)は48%でした(犯罪白書より)。再犯を防ぐには、矯正施設(注3)から戻ってきたときに、整った環境の中で暖かく迎え支援してくれる人がいることです。そうすれば罪は繰り返さなくて済むのです。

### 保護司として生きる

私は保護司として、自分が関わった人々を理解し、共感し、寄り添うことを忘れずにいたいと思っています。裏切られることやがっかりすることも度々です。時にはめげそうになることもありますが、彼らの更生を信じて日々接しています。そして、彼らによって私は、大きな人生の勉強をさせてもらっています。保護司に関心を持った方は、どうぞ私に声をかけてください。

(注1) 刑務所の仮釈放者や保護観察付きの執行猶予者、家裁で保護観察処分を受けた少年や少年院の仮退院者に、社会生活を通じて社会復帰を目指すさせる措置。

(注2) 検挙された犯罪者のうち再犯者が占める割合。

(注3) 犯罪を行った者や非行のある少年を收容し改善更生のための処遇を行う施設。刑務所、少年刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所など。



### 納涼の会 開催

この日の最高気温は二五度。残暑と呼ぶには、秋の気配を感じる涼しい夕暮れ時です。

恒例の「納涼の会」が九月二日(土)午後六時から、四三名の会員に加え現役学生三名も参加して、市内「ファクトリーカミカゼ」で開催されました。納涼の会に付きものと言え、冷えたビール。

今回の会場は、地ビール工場の二階。搾りたての新鮮なビールが飲めるとあって、開宴前から、乾杯!を待ち望む会員の熱気で溢れています。

## 立川稲門かわら版

ビールが苦手という人でも、工場(一階)直送の新鮮なビールにつられてオーダーしてしまっなど、会場は瞬く間に盛り上がりました。



当日は、タレント中島まさるさんの歌とトーク、バンド「麵鉄音」の演奏などで華を添えました。また、昨期開幕したBリーグ「アルバルク東京」のマネージャーを務める下出恒平さん(日14年人間科学卒)から「地元のアリーナ立川立飛でも試合をするので、観戦に来てください」とのPRもありました。

宴の締めは「都の西北」斉唱。が、この日は一番だけで終了。若干不満気なメンバーから「十月の総会では三番まで歌おう!」との声で再会を約し、夏恒例の「納涼の会」は盛会裏に終了しました。



# トピックス



## Bリーグが立川にやって来た！

「プロ野球、Jリーグに続く第3のプロスポーツ」というと何のスポーツを思い浮かべるでしょうか。プロバスケットボール

リーグBリーグは、Jリーグの創設に尽力された稲門OBの川淵三郎氏のお力をお借りし、昨年9月に誕生しました。現在1部18クラブ、2部18クラブ、3部9クラブが全国で活動しています。

私たちアルバルク東京はB1リーグ東地区に所属しており、年間60試合のリーグ戦を勝ち抜き、来年5月のチャンピオンシップ出場、そして日本一を目指しています。

今シーズンからは都内で開催する30のホームゲームのうち26試合を多摩モノレール立飛駅徒歩1分のアリーナ立川立飛で開催しています。

バスケットボールの醍醐味は、目まぐるしく攻守が入れ替わるスピード感、そしてたくさん得点が入るため、仲間と観戦すると喜びやワクワクをたくさん共有できます。もちろんアリーナ内でのビールで乾杯！もできますので、



写真提供：©ALVARK TOKYO

ぜひ楽しいお酒を飲みながらアルバルクを応援して頂ければ嬉しいです。ご観戦希望の方はぜひ下出まで一報ください！

トヨタアルバルク東京  
マネージャー  
下出 恒平  
(H14年人間科学卒)  
E-mail  
shinoide.k@alvark-  
tokyo.jp

### 新入会員紹介

- ◇潮 麻衣子 平成19年法・平成22年法務研究科
- ◇太刀岡貴司 平成7年文
- ◇永瀬恵太 平成27年政経
- ◇平野克典 平成11年政経
- ◇増田一郎 昭和63年法
- ◇山口哲彦 昭和60年社会学
- ◇岡野和宏 平成8年法
- ◇下出恒平 平成14年人科
- ◇末廣光佑 平成27年教育
- ◇中川洋子 平成22年国際教養

### これからの行事予定

- 新年会 平成30年1月20日(出)  
立川グランドホテル(予定)
- 観桜会 平成30年4月  
国営昭和記念公園(予定)
- 納涼の会 平成30年8月

### 編集後記

今年も、多くの方にご協力頂き、会報を作成することができました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

特集記事では、団塊世代のリタイア後の暮らしをテーマに、幅広い記事を募集しています。具体的には、現役時代のスキルを活用して仕事やボランティアに携わっている方の体験談や田舎の両親が残した家や畑の活用や管理などの実体験など、ご意見をお寄せください。

その他、次号では俳句や短歌のコナを予定しています。どうぞご期待下さい。

(上野)

